

『感動』の入口へ！プロジェクト

～京都サンガF.C.ホームゲームに来てもらう・また来てもらうアプローチの提案～



自己紹介



山田晃毅

京都産業大学 3回生
経済学部 経済学科



谷こと葉

京都女子大学 2回生
家政学部 生活造形学科



浦辻颯太

京都産業大学 4回生
経営学部
マネジメント学科

目次

プロジェクト概要

プロジェクトの流れ

提案内容

提案に対する企業(京都サンガ)のコメント

プロジェクトを通じた学び、印象に残っていること

プロジェクト概要

京都サンガF.C.が長く愛されるチームであり続けるため、大学生の視点で大学生がより楽しめる試合への「入口」となるプランを提案

連携企業：株式会社京都パープルサンガ



**「感動力!」
の入口へ!!**

MISSION

京都サンガF.C.
大学生ファン層の強化に向けた
初観戦へのロードマップを提案せよ!

プロジェクトの流れ

- ① チームビルディング
- ② リサーチ(ホームゲーム運営)
- ③ アイデア出し
(ブレインストーミングなど)
- ④ 企画立案(解決策の考案)
- ⑤ 中間報告
- ⑥ 企画のブラッシュアップ
- ⑦ 最終報告(企画・活動の報告)
- ⑧ 振り返り



新規サポーター歓迎DAY & リモート観戦

新規サポーター歓迎DAY

プラン1

- ホームゲームの2回に1回行う
- 料金は1000円以内
- お1人様1回限り(ファンクラブで管理)
- 次回チケットとグッズの割引券付き

プラン2

- 年に数回開催
- 料金無料
- 100人～150人限定
- 定員を超える場合抽選
- お1人様1回限り(ファンクラブで管理)
- タオル、ユニフォームのグッズ配布

リモート観戦について

- 初めて観戦する人、興味がある人、既存サポーター向け
- スマホやテレビで視聴
- 料金500円～1000円(新規サポーター限定)
- ハイライトや良いプレイを集めた動画の配信

サンガ専用のスポーツバー 大学生向け、既存サポーター向け

- 京都市内に作る
 - サンガが運営(安心)
 - 友達と見に行きやすい
 - 一緒に見ている人と盛り上げられる、交流の場になる
- アウェイ戦、日本代表戦の観戦

U22限定応援席で一体感と非日常感を！

コンセプト：サッカー観戦の楽しさと一体感を若年層に感じてもらう

目標：京都サンガの若年層における認知度向上

→観光と観戦をかねて、形にも記憶にも残る思い出に

スタジアム周辺の活性化

→新規サポーター、アウェイサポーターの亀岡および京都への関心度向上

選手名、背番号と選手の京都のおすすめのスポットを関連付ける



U22限定応援席

周りは同世代！！

来場へのハードルが下がる



チャントの歌詞と選手
一覧を配布

同世代のコアなサポーターの応援の誘導



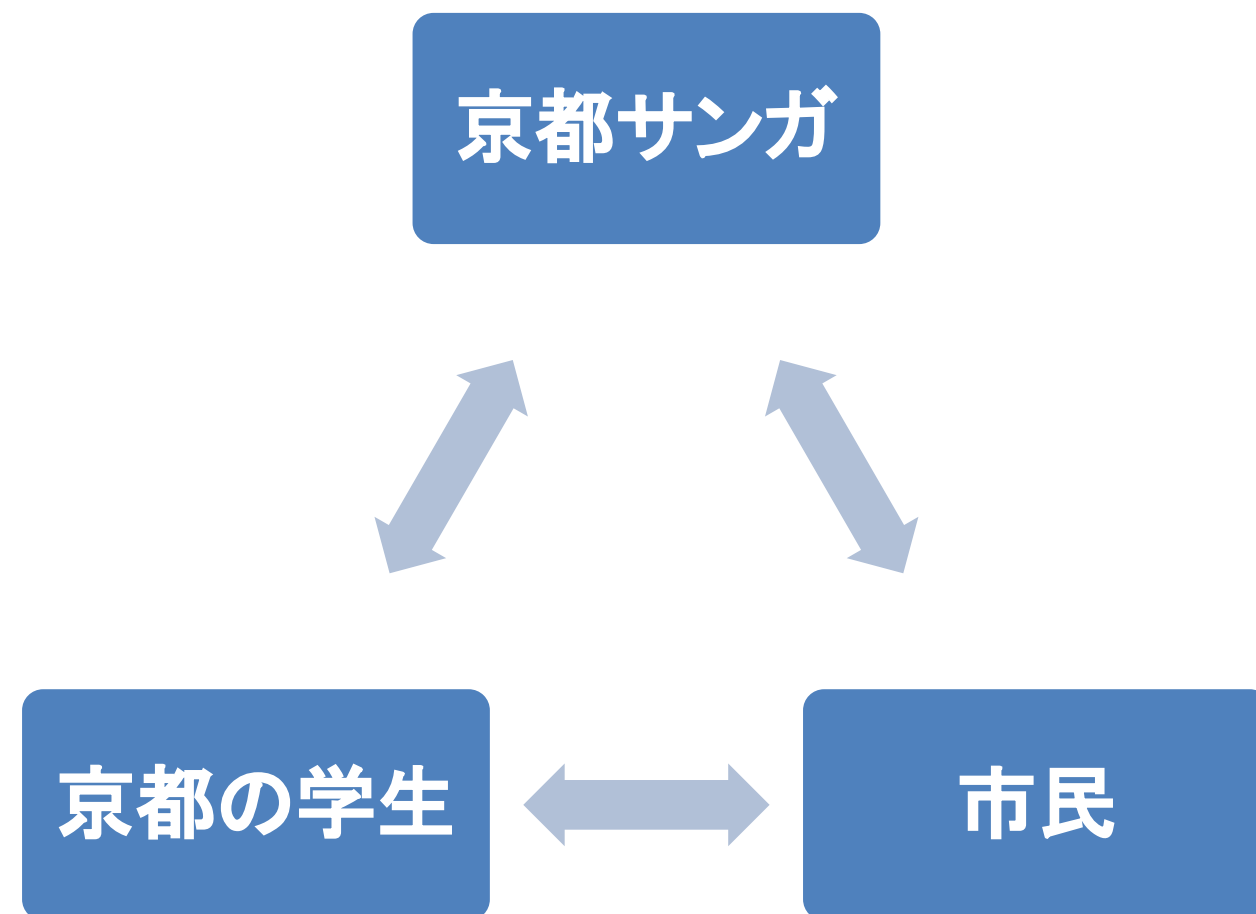
Tシャツ、タオル等
のグッズの配布

グッズがあることでスタジアムの
一体感と非日常感



学生から京都サンガF.Cの一員に！

学生を通じ「サンガに関係する全ての人々と夢と感動を共有し、地域社会の発展に貢献する」チームに



京都サンガ公認の新しいボランティア団体(学生団体)を組織し、クラブ運営(イベント企画や試合当日の運営補助など)、地域貢献・社会貢献、サッカー普及の活動を京都の中で行う

課題:「学生のまち」ではあるが、京都の学生の京都サンガに対する認知度、興味・関心が薄い

要因:チームと学生に接点がない→観戦理由がない

期待される効果・メリット

京都サンガ:学生ファンの獲得、社会貢献活動の認知拡大

学生:学生活動・インターン

市民:社会貢献活動の享受

提案に対する企業(京都サンガ)からのコメント

- ・提案内容を継続的に取り組めるような形にするにはどうするか
- ・3人の提案内容を組み合わせることでストーリー作りが可能ではないか
- ・学生の意見を今後のチーム運営に活かしていきたい

プロジェクトを通じた学び、印象に残っていること

- ・普段関わることのない社会人と価値観を共有できた
- ・京都サンガを中心に地域との連携を考えることができた
- ・ボランティアの人やサンガの人と関わり、自分の中の視野が広がった
- ・ターゲットの絞り込み、3人の異なる視点からの提案を模索した